

令和3年3月9日（火曜日）

建設通信新聞

計画的インフラ整備を継続



8日の参議院予算委員会で、麻生太郎財務相はインフラ整備について、防災・減災、国土強靱化に生産性向上の視点を加えて進めていく必要があるとの認識を示した。自民党の足立敏之参院議員が日韓の高速道路の4車線化の状況や過去20年間の公共投資水準の比較を示し、日本は韓国に大きく劣後しているの

参院予算委 足立議員の質疑で菅首相

ではないかという指摘に対し、麻生財務相は「（山間部が多いなど国土条件の違いはあるが）残念ながら事実だ」と認めた。その上で、「全体として公共工事は、震災（復興）とか強靱化とプラスして、インフラストラクチャーとしてきちんと（整備）しておかないと、生産性向上につながらない。港から高速道路までの道路が極めて狭あいになっていることなど挙げるときりがないが、国土強靱化の中には生産性の向上の視点も考えなければならぬ」と答えた。続けて答弁に立った菅義偉首相は、「インフラ整備は地域の生活や経済を支えるために大きな役割を果たしている。引き続き、計画的なインフラ整備を推進していく」と長期計画に基づくインフラ投資の必要性に明言した。写真。